

つくば市民白書 2012 実行委員会

第 14 回会合・第 2 回編集委員会まとめ

日時：2011 年 8 月 20 日(土)14:00-17:00

場所：市民活動センター

出席者：河村、山本、亀山、安田、緒方、横井、酒井、野口、原田

議題：

- (1) 報告（経過、その他）
- (2) 協議
- (3) 第 2 回編集委員会

(1) 報告

①経過報告

7 月 23 日(土) 第 12 回実行委員会の後、特に活動はなかった。茨城労連への訪問は 9 月の予定。

(2) 協議

実行委員会としての協議事項はなし。

(3) 第 2 回編集委員会

引き続き第 2 回編集委員会を開催した。

①執筆要領など

編集長と事務局長で以下の修正を行うことで執筆依頼文、執筆要領案を承認した。

- ・文字サイズ 10 ポイント、1 行 22 文字、40 行(1 ページ 1760 字)とする。
- ・タイトル下に右寄せで執筆者名(カッコ内に所属)を記入する。
- ・日付は 2011 年 9 月 1 日とする。

②執筆依頼文書送付

編集長と事務局長の修正が終了したら、事務局長は確定した執筆者に対して郵便で執筆依頼文、執筆要領、目次案、見本などを送付する。

②目次案、執筆依頼者案

各省担当編集委員より出された目次と執筆依頼予定者案を検討して別紙のタイトル、執筆者依頼一覧(2011.08.20 第 2 回編集委員会)をまとめた。主な議論と変更箇所は以下の通りである。

1. 市政と議会

- ・「公民館」は「4. 教育と文化」に移動する。
- ・緒方氏に「憲法と地方主権」に関する執筆を検討してもらう。

2. 財政

亀山氏がまとめて執筆する。茨城労連に執筆依頼を行う内容については亀山氏が判断する。

3. 医療と福祉

横井氏より出された項目、執筆者案をほぼ了承した。

・「障害者自立支援」の執筆者としてつくば自立支援センター「ほにゃら」と児玉正文氏が推薦された。横井と野口で検討する。

4. 教育と文化

寺門氏の提案をほぼ了承した。

- ・「4. 親から見たつくば市の教育問題」は書けないとのことで削除する。
- ・「8. 学校敷地の放射能管理」は、高教組が行っている。「環境」の章が適当かもしれない。「放射能問題」の章で後述)
- ・「9. 公民館」で執筆者に上がっている「変えなきゃつくば」は HP に河村の意見が載っているだけで活動はないとの意見があり、また横井氏が資料を持っているとのことで、寺門氏に検討してもらうことになった。

・「10. 男女共同参画」について、前回執筆者の長田氏にその後の展開を依頼したらどうかとの意見があり、寺門氏に検討してもらうことになった。

5. まちづくり

河村氏の提案をほぼ了承した。

- ・「1. TX 沿線開発」は執筆者の酒井氏が了承した。
- ・「5. 公務員宿舎跡地利用」は削除する。
- ・「7. 水道料金」の執筆者は、河村が再検討する。
- ・「8. 地域の防犯活動」は削除する。

6. 環境

矢澤氏の提案をほぼ了承した。

- ・「発見地図づくり」「市内路線バス網」「花と緑のまちづくり」は「5. まちづくり」に移動する。
- ・「農と人をつなぐ」「オーガニックファーマーズヴィレッジ」は「7. 産業」の移動する。

7. 産業

原田氏が提案未提出のため、議論せず。

8. 観光

早川氏の提案をほぼ了承した。

9. 科学技術と平和

担当を学研労協に依頼することになり、事務局長が交渉することになった。

- ・「つくば市内研究機関の災害対策研究」「ロボットのまちつくばと産官学連携」の2項目を学研労協に依頼する。
- ・「2. 福島原発事故とつくば市の対応」の執筆者はさらに検討する。
- ・谷田部飛行場について、根崎氏（つくば工科高校）に執筆依頼する。

③その他

・福島原発事故と放射能汚染について目次案にも各章で取り上げられているが、市民の関心も高く、新たに章を作りまとめたらどうかという意見が出され、次回検討することとなった。

(4) 次回第15回実行委員会、第3回編集委員会

9/24 (土) 10:00-12:00 市民活動センター

(以上)

2011年9月1日

様

「つくば市民白書 2012」 実行委員会
編集委員長 山本 千秋

「つくば市民白書 2012」の原稿依頼について

拝啓 暑い日が続きますが、お元気でご活躍のこととお喜び申し上げます。
現在つくば市では、研究学園駅近くに新庁舎が開庁され、TX 4 駅を中心に沿線開発が進められ、また、地方自治体の憲法といわれる自治基本条例の制定事業が進行中です。

さて、「つくば市民白書 2012」実行委員会は「つくば市民白書 2008—市民の目でみたつくばの今」（2008 年 7 月発行）を引き継いで 2012 年に「つくば市民白書 2012」を発行するために昨年 4 月から準備を進めていましたが、このほど別紙の目次案をとりまとめ、執筆予定者の皆様に原稿執筆のお願いすることになりました。

「つくば市民白書 2012」は、つくば市の広範な行政分野に対応して現状・問題点・今後の課題を市民の立場から調査分析して冊子にまとめ広く市民に知らせ、市民による政策要求や政策提言の運動に役立てることを目的としています。執筆者の皆様にはこの目的をご理解いただき原稿を執筆していただきたいと思っております。

つきましては、別紙「2012 年版目次案」のテーマ；

(_____)

について、別紙の「執筆要領」によりご執筆いただきたくお願い申し上げます。

白書は単に個人的な文章を集めた文集ではなく、テーマによっては市政の現状を厳しく分析・批判する視点が必要になることがあります。このため報告、論文の作成過程において体裁、表現などに関して編集委員がご相談させていただくことがあるかもしれませんが、執筆者の意向を尊重することを原則として、実行委員会は白書全体の発行責任を負い、執筆者は個別報告、論文の文章責任を負うこととします。

ご多忙のところ、大変恐縮には存じますが、市民白書の意義についてご理解いただき、玉稿を賜りますよう重ねてお願いいたします。

なお、白書の仕上がりは、2012 年 4 月を予定しています。

敬具

原稿の送付先及び実行委員会への連絡・問い合わせ先

原田 泰（つくば市民白書 2012 実行委員会 事務局長）

〒305-0061 つくば市稲荷前 24-22

TEL.029-855-2752 電子メールアドレス tharada@japan.email.ne.jp

●原稿の提出期限

2011 年 12 月 15 日（木）

原稿依頼が遅れた項目については、個別に相談いたします。

「つくば市民白書 2012」執筆要領

1. 原稿の取り扱いについて

白書の目的は単に個人的な文章を集めた文集ではなく、テーマによっては市政の現状を厳しく分析・批判する視点が必要になる。白書が広く市民に支持されることを願い、提出原稿について著者の了解を得ながら、必要な加除修正を行う場合がある。

2. 文章に関する注意

- ・長文の論文調を避け、現状、課題、問題点、市及び国への住民要望、提言などを簡潔に具体的に記述する。

3. 原稿の形式（本文の仕上がり見本を同封したので参考のこと）

- ・MS ワードまたは一太郎ワープロソフトを使用し、下記提出先に電子メールの添付ファイルで送付する。電子メールが使用できない場合は白紙に印刷し、郵送する。
- ・手書き原稿の場合は、A4 縦判の横書き原稿用紙を用いる。
- ・本文の標準フォントはMS 明朝体で、文字サイズは 10 ポイントとする。
- ・文書スタイルは上下 3cm 左右 2.5cm の余白をとり、行当たり 43 字、ページ当たり 40 行とする。その上で、2 段組に設定する。(総文字数 22 字/行×40 行×2 段=1760 字/ページ)
- ・テーマ名の標準フォントは MS ゴシックで、文字サイズは 18 ポイントとする。
- ・中見出しの標準フォントは MS ゴシックで、文字サイズは 10 ポイントとする。
- ・原稿は、先頭に①テーマ名、続けて②氏名、所属（カッコ内）、③本文（内容に応じて、中見出しを付ける。中見出しに番号は付けない）の順とする。
- ・本文は「です」「ます」体とする。
- ・年号は原則として西暦を使用する。行政文書の関連では和暦を使用できる。
- ・文章に責任を持つ意味で原則として文頭に執筆者名を記入するが、とくに事情がある場合は相談を受ける。

4. 図表、写真

- ・図表や写真は鮮明なものを用い、図 1、表 2、写真 3 等の番号と表題を付ける。
- ・図表など別ファイルがある場合は、元ファイルも提出する。ファイル送付ができない場合は、A4 縦判白紙に印刷したものを提出する。
- ・手書き原稿の場合は、A4 縦版白紙に貼り付ける。場合によって編集委員会で作成する。
- ・図表を印刷または添付する場合は、本文と同様上下 3 cm 左右 2.5cm の余白をとる。
- ・仕上がりのサイズを意識し、見えにくい図表にならないように注意する。
- ・白書の仕上がりは白黒なので、図表、写真などでカラーは使用できない。

5. 白書の仕上がりスタイルのイメージ

- (1) 「つくば市民白書 2008」を基本型とする。(A4 縦判 1760 字/ページ—同封見本参照)
- (2) 1 テーマ見開き 2 ページで左側に文章、右側に図表や写真を配置する。文章量が多い場合は、次の見開き 2 ページに同様のスタイルで続ける。
- (3) 原則として 1 テーマ最大 4 ページまでとする。
- (4) 右側の図表が少ない場合は、文章を右側ページに続けて書いても差し支えない。

●原稿の送付先及び実行委員会への連絡・問い合わせ先

原田 泰（つくば市民白書 2012 実行委員会 事務局長）

〒305-0061 つくば市稲荷前 24-22

TEL.029-855-2752 電子メールアドレス tharada@japan.email.ne.jp

●原稿の提出期限

2011 年 12 月 15 日（木）

原稿依頼が遅れた項目については、個別に相談する。

2012年版目次案(2011.08.20第2回編集委員会)

章	項目	枚数
推薦のことば		2
刊行にあたって		2
目次		1
1 市政と議会 (担当編集委員:野口修)		
1	自治基本条例	6
2	憲法から見た地方分権、地方主権	2
3	行政組織に関する組織、運営問題	2
4	つくば市の議会の問題	2
5	風車問題パート2 (高裁判決から最高裁の棄却判決まで)	10
6	行政への市民参加とパブリックコメント制度の検証	2
2 財政 (担当編集委員:亀山大二郎)		
1	つくば市の財政問題	10
3 医療と福祉 (担当編集委員:横井美喜代)		
1	国民健康保険税	2
2	障害児・障害者・虚弱高齢者の問題	2
3	学童保育・児童館	2
4	子育て支援	2
5	介護保険	2
6	市立病院	2
7	新保育システム	2
8	障害者自立支援	2
4 教育と文化 (担当編集委員:寺門宏倫)		
1	小中学校から見たつくば市の教育問題	2
2	高等学校から見たつくば市の教育問題	2
3	教育センターから見たつくば市の教育問題	2
4	特別支援学校から見たつくば市の教育問題	2
5	小中一貫教育と学校統廃合について	2
6	学校給食の大型化について	2
7	学校敷地の放射能管理	2
8	文化行政公民館の地域交流センター化	2
9	男女共同参画社会	2
5 まちづくり (担当編集委員:河村俊次)		
1	TX 沿線開発	10
2	高齢化・過疎化する地域の問題点	2
3	自転車のまちとつくばの道路問題	2
4	地域コミュニティ	2
5	地域・広域防災対策とつくば行政	2
6	水道料金値下げ運動と議会対応	2
7	歩いて発見地図づくり	2

	8	市内路線バス網の再編—つくバスとつくタクの検証	2
	9	花と緑のまちづくりの取り組み	2
6 環境 (担当編集委員:矢澤容子)			
	1	つくば環境スタイルと低炭素社会づくり	6
	2	二酸化窒素測定運動	2
	3	環境行政	2
	4	小中高における環境教育の取り組み—竹園高校環境カルタ	2
	5	一人一環境協力宣言 (我が家のエコ宣言)	2
	6	つくばエコライフ活動—レジ袋削減、エコバッグの取り組み	2
	7	エコドライブの啓発と効果	2
	8	グリーンバンク制度の検証	2
	9	廃食用油リサイクルの可能性	2
	10	森林ボランティアの活動の推進	2
7 産業 (担当編集委員:原田泰)			
	1	つくば市の産業	6
	2	農と人をつなぐユートピアの取り組み	2
	3	オーガニックファーマーズヴィレッジのとりくみ	2
	4	商業	2
	5	工業	2
	6	産業振興	2
8 観光 (担当編集委員:早川公)			
	1	つくば市観光の現状と課題	4
	2	商店街の活性化と観光の関わり—北条商店街の取り組みから	2
	3	自転車 (サイクリスト) と観光	2
	4	グリーンツーリズムの可能性と諸課題—体験農園の事例から	2
	5	PR の観点からみたつくば市観光の問題 1—情報の発信と共有について	2
	6	PR の観点からみたつくば市観光の問題 2—観光客は何を目当てにつくばに来るか	2
9 科学技術と平和 (担当編集委員:学研労協に依頼予定)			
	1	科学技術都市としての環境整備とまちづくり	2
	2	ロボットの町つくばと産官学連携	2
	3	福島原発事故とつくば市の対応	2
	4	平和問題に対する市民活動とつくば市の平和事業	2
	5	谷田部飛行場	2
コラム よりよい市政へ 私のひと言			
	1	地域の生活サポート活動	1
	2	地域活動としてのアダプト・ア・パーク (公園里親制度)	1
実行委員会 白書発行の経過、委員名簿など			3
あとがき —編集チームから			1